

まえがき

大学入試の現代文で出題される文章は、ほとんどが評論文で、その多くは非常に難易度の高いものです。

こうした文章を読解するためには、筆者の意図をさぐりつつ、文全体の論理構造をつかむ必要がありますが、それ以前に、そこで使われている単語の意味がわからなければ、正確な読解ができるはずはありません。

たとえば、次のような文章はどうでしょう。ざっとでいいので目を通してみてください。

科学は具体的な経験の一面を抽象し、抽象化された経験は他の同類の経験と関係づけられて分類される。このように抽象化され、分類された経験は、原則として、一定の条件のもとで繰り返されるはずのものである。従って科学は、法則の普遍性について語るができるのである。たとえば一個

の具体的なレモンは、その質量・容積・位置・運動等に還元されることによつて、(その他の性質、たとえば色や味や産地や値段を捨象されることによつて)、力学の対象となり、またその効用や生産費や小売価格などに還元されることによつて、(その他の性質、たとえば位置や運動量などを捨象されることによつて)、経済学の対象となる。力学や経済学は、具体的なレモンについてではなく、抽象化された対象について、その対象が従う法則をしらへるのである。

(加藤周一「文学の概念」)

これは、かつてセンター試験で出題された文章の中の一節です。どうでしょう。すぐに頭に入ってきたでしょうか。

冒頭の、「科学は**具体的な経験**の一面を**抽象し**」というところで、「**具体**」「**抽象**」という言葉は聞いたことがあつても、はたして「**具体的な**」という形容動詞や「**抽象する**」という動詞を知っていたでしょうか。あるいは「**普遍**」「**捨象**」「**対象**」などの意味をはつきりと理解しているでしょうか。



料理において、論理的な思考がレシピだとすれば、単語は食材です。どんな完璧なレシピを持っていても、材料がなければ料理は作れません。

英文解釈を考えてみてください。ある文章の文構造がわかったとしても、そこで使われている単語の意味を知らなければ、全体として何を言っているのかさっぱりわからないでしょう。それと同じことです。

しかも、英語の場合よりもっと怖いことがあります。英語なら、知らない単語が出てきたときにはきつと辞書を引くでしょう。でも、現代文の場合、日本語だからと考えて、よくわからない単語も、なんとなく前後の流れだけでわかった気になっっていないでしょうか。

もちろん前後の文脈から意味を類推する力は重要ですが、それだけではどうしても正確な意味にたどりつけない単語、そしてこの語の意味がわからなければ文全体の意味さえ読みがちがえてしまうというくらい重要な単語があるのです。

こうした重要語は、たんに辞書の意味を覚えるだけでは真に理解したとは言えません。その語の核となるイメージをつかみ、実際に文章の中でどのように使われるのかわらなければ、「腑に落ちた」とまで言うことはできません。

編者たちは、予備校の教室で受験生たちにこうした重要語を理解してもらった

めに、一語一語くわしく説明する時間をとってきました。そしてその際に、黒板に図や絵を描くことで、より深く理解してもらえるように努めてきました。

本書はそうした経験を元に、これだけはどうしても「腑に落ちた」かたちで理解してもらいたいという重要語を図解したものです。絵で鮮やかなイメージを持ち、また他の語と関連させて覚えることで、より深く理解し、かつより忘れにくくなるはずです。

本書で出てくる単語は、大学入試現代文の最新の傾向を踏まえた、非常に重要なものばかりです。まず本書を読んで語の意味をしっかりと理解してください。そして、問題文を読んでいて意味のわからない単語に出会ったときには、辞書代わりとして使ってください。

わかりました
がんばります!!



いっしょにマスターしよう！

「自律」と「他律」のように
関連する語は **○** の
枠に入れてまとめました。

本書の見方



自律

自分で自分のルールを作ること。



【例】

● 「他」は、「他律」「他罰」など、他を
指すのだから「他」。「自律」は自
己を指すから「自」。「他罰」は自
己を罰するから「他」。「他罰」は自
己を罰するから「他」。「他罰」は自
己を罰するから「他」。

関連語・派生語

● 「他」は「他律」「他罰」など、他を
指すのだから「他」。「自律」は自
己を指すから「自」。「他罰」は自
己を罰するから「他」。「他罰」は自
己を罰するから「他」。

関連づけて覚えよう！

見出し語に関連する語・見出し語から
派生した語を載せました。
あわせて覚えておきましょう。

実戦的な語意!

辞書とはひと味ちがう、入試現代文に即した実戦的な語意をコンパクトに示しました。



他律

他人が作ったルールを受け入れる／押しつけられること。

わかりやすい例文!

見出し語の意味を理解するための例文を載せてあります。



【例文】

「他律」の語義は、「他人が作ったルールを受け入れる／押しつけられること」です。

例文として、「山の中を歩くと、道に迷ってしまう。」という文章を載せてあります。この文章は、「他律」の語義を説明するために使われています。

【例文】

「他律」の語義は、「他人が作ったルールを受け入れる／押しつけられること」です。

解説を読んで学ぼう!

語をさらにわかりやすく説明しました。正確な読解に役立てるため、評論文での使われ方を学んでください。

まえがき 2 / 本書の見方 6 / イラスト制作者より 10



論理

11

一義(的)・二義(的)・両義(的)・多義(的)・デジタル・アナログ
 一元・二元・多元・カテゴリー／範疇はんちゆう・絶対・相対・具体／具象・抽象
 演繹えんぎやく・帰納きうなう・普遍・一般・特殊・個別・主観・客観・間主観・并証法
 分析・総合・微視的・巨視的・逆説・ジレンマ・二律背反



人間

47

意識・自己意識・無意識・コンプレックス・エゴイズム・ナルシズム
 自律・他律・アイデンティティ・疎外・ア・プリオリ・ア・ポステリオリ
 啓蒙けいもう・観念・概念・理念・倫理・アンビバレント



社会／文化・言語

69

イデオロギー・正統・異端・コスモス・カオス・マジョリティ・マイノリティ
 共時的・通時的・有機的・無機的・自然・人為・形而上・形而下・ヒエラルキー
 体系・分節化・レトリック・アイロニー／皮肉・反語・比喩／メタファー
 象徴／シンボル・虚構・神話・ステレオタイプ・リテラシー・カタルシス



近代

105

前近代・近代・資本主義・社会主義・共同体・市民社会・国民国家
 ナショナリズム・グローバリゼーション・メディア・ジェンダー・フェミニズム
 合理性・理性・功利主義・パブリック・プライベート・リアリズム
 ヒューマニズム・ニヒリズム・シニシズム・オリエンタリズム・文化相対主義

索引

140
149